

## 木曾ヒノキうちわ宇宙へ

二月十二日に打ち上げ予定の米スペースシャトルで国際宇宙ステーションに向かう宇宙飛行士、若田光一さん(45)が持参する公式飛行記念品として、木曾ヒノキのうちわが選ばれたことが二十二日、分かった。木曾郡南木曾町の製材会社社長、柴原薫さん(49)が、林業を守りたい

との思いを込めて作っているものだ。柴原さんの知人で宇宙開発事業団(現宇宙航空研究開発機構)の宇宙飛行士室長だった寺門邦次さん(66)＝東京＝が南木曾町を訪れた際、柴原さんは「手入れがされていない山の資源を循環利用して環境を守る道を探っ

若田さん飛行  
公式記念品に

ている」と説明。工夫の一つとして作っている木曾ヒノキうちわを贈った。

「強い情熱に感動した」という寺門さんが若田さんにこの話を伝え、二人は「少しでも林業の後押しになれば」と、うちわを宇宙へ持って行く準備を進めた。寺門さんが村井知事に協力を求め、県の提供品として飛行記念品に選ばれたという。

同機構によると、若田さんが持参する記念品は十品程度。重量の問題で持って行けないこともあるという。うちわは川中島合戦にちなんだ軍配型。地球へ戻ると米航空宇宙局(NASA)の証明書付きで返還される。柴原さんは「若田さんらの温かい思いのおかげです。皆が森づくりに目を向けるきっかけになったら嬉しい」と、シャトル搭載を心待ちにしている。

シャトルへ搭載されるものと同型の木曾ヒノキうちわを持つ柴原薫さん。若田光一さんがサインをしてある

